



日本の“宝島”あまくさ

ほんど

まちづくり協議会だより



「まちづくりの原点は人づくり」

今年の夏は、前半は各地で猛暑、その後は長雨、台風、9月に入り豪雨、関東・東北では9月の平均雨量の2倍の雨が5日間で降り、観測史上1位という大雨で各地に被害が出ました。異常ともいえる気象、しかしこれからは、これが異常でなくなり、想定外が想定外でなくなるかもしれません。天草市でも9月6日に一斉避難訓練が実施されました。災害が発生したとき、それぞれの地域でどこが避難場所として最も安全か、その道筋は安全か、地域の皆さんがそれぞれに検討し決定し、いざという時に役立つ訓練をするべきではないかと感じました。

やる気と本気は違う、やる気がありますかといえは、みなやる気があるという、だけれどもその本気はしっかり見極めなければいけない。補助金がつくからやらないかとはこちらからは言わない。何かやりたいと本気で考えている人は最終的には成功に導いていく、本気で向かってくる人には本気で応える、金があるからやりますは絶対に良い結果を生まない。「あれは離島だからできた」「あれだけ規模が小さいからできた」「あそこにはあの人がいからできた」など自分たちができない言い訳をあたかも正論のように口にする人もいる。まちづくり事業を起こすのも、それを潰すのも「人」やはり大事なものは人、

「まちづくりの原点は人づくりだ」島根県海士町の山内道雄町長の言葉です。

また、日本総合研究所主席研究員の藻谷浩介さんは、くまもとの地域おこしは資源頼りの感が強い。「観光客を喜ばせるには、自分たちがまちを探し楽しむ努力をしなければならない。地元にとって面白い情報は観光客には必ずうける」と、私たち一人一人が地元の魅力を探し伝える力を鍛える必要がある。

このお二人の言葉は私たちの地域づくりに、重要であり必要なことではないでしょうか。

全国の魅力度ランキングで、熊本県は15位、阿蘇や天草や熊本城など全国レベルの観光地を擁しながら、福岡(7位)などに水をあけられているのは、私たち自身が魅力を知り発信する力が弱いからではないだろうか。

あなたは、自分のまちの魅力を20挙げられますか。

熊本は宝を磨いていない、住んでいる人が一番わかっていない、一番の宝は人、磨き、つなげ。(東京大学名誉教授の姜尚中さん)

私たちの孫や曾孫の世代が、生まれてよかった、この土地に育ててもらってよかった、故郷への誇りと感謝をもって幸せに生きていけるように、こんなまちにしていきたいものです。皆様のご指導ご協力よろしくお願いたします。



本渡まちづくり協議会
会長 中川竹治

Vol. 15

平成27(2015)年11月15日号

目次

- 会長あいさつ…………… 1
- 平成27年度事業計画・
収支予算など……………2~3
- 人材育成研修事業報告…4
- イベントてんこ盛り……5
- 各地区の話題……………6~7
- おしらせなど……………8



本渡地域まちづくり計画の 実現に向けてはじめての一步!

～平成27年度 事業計画・収支予算を決定～

平成27年度 事業計画・収支予算を決定

平成27年度の「第1回本渡まちづくり協議会」を6月25日、天草宝島国際交流会館ポルトで開催しました。会議には、委員など21人が出席。中川竹治会長のあいさつでは、平成27年3月31日に策定された「本渡地域まちづくり計画」の実現に向けて、はじめての一步となる年であることにふれ、その思いを全ての出席者で共有しました。その後、平成26年度の事業実績・収支決算・監査報告や、平成27年度の事業計画・収支予算などについて慎重に審議され、いずれも原案のとおり承認されました。本会の「まちづくりは、人づくり」という基本理念のもと、今年度も人材育成を中心とした事業を展開することとなりました。「人材育成研修」、「まちづくり研修」、「協議会だより発行」や「まちづくり発表会」などを継続して実施します。また、今年度から「フットパス研修」を新たに実施します。

各事業の紹介

人材育成研修

人材育成研修は、まちづくりを推進する人材の発掘と育成を目的として、県内外の先進地を訪問し、研修を行う事業です。

本年度は、本会委員などを対象として、日本有数の先進地を訪問する県外研修を1回実施いたします。

協議会だより発行

協議会だよりは、年2回本渡地域にお住まいの皆さんに配布しています。まちづくりに関する情報を、分かりやすくお伝えできる誌面にしたいと思えます。

ご意見やご要望などありましたら、本会事務局（ポルト・市まちづくり支援課）または各地区コミュニティセンターへお知らせください。

平成27年度 収支予算

収入	
予算額	17,480,000円
○天草市交付金	16,686,000円
○参加者負担金	500,000円
○繰越金	278,905円
○雑入	15,095円

支出	
予算額	17,480,000円
○運営費	210,000円
○事業費	2,515,000円
・まちづくり人材育成事業	(1,913,000円)
・まちづくり研修事業	(65,000円)
・フットパス研修事業	(50,000円)
・まちづくり発表会事業	(60,000円)
・協議会だより発行事業	(427,000円)
○地区振興会活動費	14,735,000円
※10地区振興会の活動費	
○予備費	20,000円

平成26年度 収支決算

収入	
決算額	17,034,482円
○天草市交付金	16,686,000円
○参加者負担金	78,000円
○繰越金	240,147円
○雑入	30,335円

支出	
決算額	16,755,577円
○運営費	288,429円
○事業費	1,732,148円
・まちづくり人材育成事業	(483,049円)
・まちづくり研修事業	(748,774円)
・まちづくり発表会事業	(113,262円)
・協議会だより発行事業	(387,063円)
○地区振興会活動費	14,735,000円
※10地区振興会の活動費	
○次年度への繰越金	278,905円

本渡まちづくり協議会委員 (敬称略)

役職	氏名	備考
会長	中川 竹治	地域づくり団体
副会長	龍石 昭好	宮地岳地区振興会長
監事	池邊 哲夫	公募
〃	江崎 昌代	公募
委員	海江田雅靖	本渡南地区振興会長
〃	鶴田 克幸	本渡北地区振興会長
〃	河野 昇	亀場地区振興会長 ※
〃	菅原 一男	柞宇土地区振興会長 ※
〃	松本 明博	志柿地区振興会長
〃	松岡 政幸	下浦地区振興会長 ※
〃	鬼塚 邦照	楠浦地区振興会長
〃	鶴田 正人	本町地区振興会長
〃	洲崎 豊裕	佐伊津地区振興会長
〃	寺澤 静子	文化関係
〃	浦川 至	体育関係 ※
〃	上 剛司	経済団体 ※
〃	國武 裕子	観光関係
〃	湯貫 秋男	産業関係
〃	小林みどり	高齢者福祉関係
〃	田口 珠代	子ども育成・青年団体

※は新任委員の皆さんです。

フットパス研修

フットパスとは、「Foot（あるく）」「Path（こみち）」という意味で、里山や田園地帯、古い町並みなど、昔からその地域に残るありのままの風景の中を、心身で感じながら歩くものでイギリスが発祥です。フットパス研修は、フットパスに対する理解を深め、地域におけるフットパスへの取り組みの足掛かりとすることを目的として、先進地から講師を招聘し研修を行う事業で、今年度からの新たな取り組みとなります。

まちづくり研修

まちづくり研修は、地域の特色を活かした取り組みを展開している団体や地域などを訪問し、それらの取り組みについて学び、意見を交換することで、気づきや発見を得て、まちづくりの参考としていただくことを目的に行う事業です。本年度は、市内研修を1回実施いたします。

まちづくり発表会

まちづくり発表会は、地域の実状と課題を再確認するとともに、共通認識を深めること

により、まちづくりのあり方を見出すことを目的として、各地区振興会からまちづくり活動を発表する事業です。本年度は、本渡北・亀場・柞宇土・志柿・楠浦の5地区振興会に、地域の特色を活かした取り組みなどを発表していただきます。多くの皆さんにご参加いただき、本渡地域あるいは各地区のまちづくりについて考えていただくきっかけになればと思えます。

※本渡まちづくり協議会についての詳細は、本会事務局（ポルト・市まちづくり支援課）☎6661へお尋ねください。

イベントで盛り

栢宇土

第28回 栢宇土町ふるさとまつり

今年も、楽しいステージイベントや農産物の即売会などを行ないます。皆様のご来場をお待ちしています!

- *と き: 11月29日(日) 9:30~14:30
- *と ころ: 栢宇土地区コミュニティセンター
- *内 容: 品評会入賞の農産物即売会、ステージイベント、展示コーナー・バザー 各種団体フリーマーケット・串焼きうどん・ぜんざい・綿菓子他・もち投げ・お楽しみ抽選会など。
- *問い合わせ: 栢宇土地区コミュニティセンター ☎ 234736

本渡北

クリスマス・イルミネーション

クリスマスシーズンを迎え、今年もサンタクロースや「くまモン」など約3,500球のLED電球を使用した電飾が本渡北地区の夜を楽しい明るさで包みます。澄んだ空気に一段と輝いて見えるイルミネーション。ぜひご覧ください。

- *と き: 11月15日(日)~12月26日(土) 17:00~21:00
- *と ころ: 本渡北小学校・正門一帯
- *問い合わせ: 本渡北地区コミュニティセンター ☎ 234734

亀場

亀場ふるさと祭り

今年も「亀場ふるさと祭り」を開催します。ゲームコーナーや抽選会など盛りだくさんです。皆様のご来場をお待ちしています。

- *と き: 11月22日(日) 10:30~
- *と ころ: 亀場運動広場 (雨天の場合は亀川体育館で開催)
- *内 容: ステージコーナー、ゲームコーナー スポーツコーナー、食べ物コーナー バザー、抽選会など
- *問い合わせ: 亀場地区コミュニティセンター ☎ 234473

佐伊津

第15回 佐伊津町ふるさと祭り

今年も、楽しいイベントを計画しています。ご家族や友達どうし、多くの皆様のご来場をお待ちしています。

- *と き: 11月22日(日) 9:30~14:30 (予定)
- *と ころ: 佐伊津地区コミュニティセンター
- *内 容: ステージ発表・作品展示・食品バザー 農海産物販売・フリーマーケット・ゲームコーナーなど
- *問い合わせ: 佐伊津地区コミュニティセンター ☎ 234402

下浦

石工・ぽんかんの里 第24回 下浦町ふるさと祭り

下浦町をあげての一大イベントで、毎年多くの来場者で賑わいます! 少し寒い時期の開催ですが、皆様のお越しをお待ちしています!!

- *と き: 2月7日(日) 9:00~15:00 (予定)
- *と ころ: 下浦運動広場 (下浦町50番地)
- *内 容: ステージイベント・餅投げ・もちつき 実演販売・ポンカン餅販売・石のポウリング・ポンカンピラミッド大会・石作品展など
- *問い合わせ: 下浦地区コミュニティセンター ☎ 234733

まちづくりの先進地 徳島を視察!

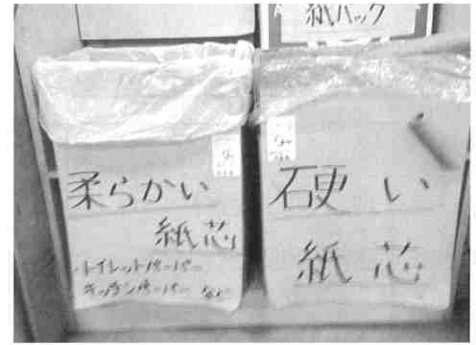
~人材育成研修事業の報告~

平成27年度の「人材育成研修事業」を10月22日から24日にかけて開催しました。研修には、委員など21人が参加。本年度は、まちづくりにおける日本有数の先進地である徳島県上勝町と神山町を訪問しました。

上勝町の取り組み

ゼロ・ウェイスト

ゼロ・ウェイストとは、[zero=0][waste=ムダ・浪費]という意味で、上勝町内の焼却・埋め立て処分となるごみをなくす最大の努力をするという事業です。家庭から出たごみは、日比ヶ谷ごみステーションに町民自ら持ち込まれ、34種類に分別されたのち再資源化されます。ごみは、コンポストなどを利用し堆肥化100%となっており、



▲ごみの細かい分別

彩(いろどり)事業

彩(いろどり)事業とは、もみじ・柿・南天・椿の葉っぱや、梅・桜・桃の花などを料理のつま物として商品化したものです。これらの生産物は軽量で綺麗であり、女性や高齢者でも負担なく取り扱うことができる商材となっています。現在の販売額は、

神山町の取り組み

サテライトオフィス

サテライトオフィスとは、[satellite=衛星][office=事務所・会社]という意味で、働く場所を選ばないIT・映像・デザイン分野などの企業を誘致する事業です。現在、12社がサテライトオフィスを設置、本社移



▲集荷されたつま物 左から南天・紅葉・笹

ワークインレジデンス

ワークインレジデンスとは、[work=仕事][in residence=居住・滞在]という意味で、神山町にとって将来必要となる働き手や起業者を誘致する事業です。現在、ピストロ・カフェ・パン屋・ピザ屋・靴屋・物産屋・ゲストハウスなどが開業し、地方における商店街の新たな再生モデルとなっています。

神山塾

神山塾とは、厚生労働省の基



▲日比ヶ谷ごみステーション視察のようす



▲サテライトオフィス視察のようす

各地区で、さまざまなイベントが実施されます。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

▶消火訓練の様子



津波を想定した佐伊津地区住民の避難訓練を実施!

佐伊津地区振興会 会長 洲崎 豊裕

9月6日、佐伊津地区住民を対象に津波を想定した避難訓練を実施しました。

訓練は2部構成で行い、1部は各区で指定している避難場所への避難、2部は佐伊津地区コミュニティセンターで炊き出し訓練や水消火器を使った消火訓練を実施し、延べ770人の参加がありました。東日本大震災や九州北部豪雨、阿蘇山の噴火など、自然災害は私たちのところにもいつやってくるかわかりません。いざという時、地区住民が互いに助け合い避難を行えるよう、地区住民の防災意識の向上を図っていければと思います。

ますます盛会に「本町ぶらりウォーク」 本町地区振興会 会長 鶴田 正人



▲笑顔で参加する子どもたち

本町には清流～広瀬川～、標高476mの“矢筈岳”、歴史伝統ある鈴木神社、東向寺があります。自然環境に恵まれた地の利を生かして「ぶらりウォーク」を平成7年に立ち上げ21回実施、参加者がコマ図を見てクイズを解きながら散策します。ぶらりとは方言ぶらぶらの意味です。イベントは好評で、参加者も年々増え、ここ数年は150人を超えています。景観探訪と健康増進を目的に開催しており、健康ポイントもつきます。また、クイズ当確者には豪華賞品を、到着後には美味しい豚汁やおにぎりがふるまわれ大変好評です。22回目は平成28年2月21日(日)に開催いたします。ご参加をお待ちしております。

楠浦よかとご案内

楠浦地区振興会 会長 鬼塚 邦照

楠浦では郷土の歴史や文化を後世に伝えるとともに、町外の人たちにも楠浦の「よかとこ」を知ってもらえるように、文化財や名所・旧跡を案内する「楠浦よかとご案内」が活動をしています。毎年1月には楠浦を巡る「楠浦よかとこスタンプラリー大会」を開催しています。その際には「楠浦よかとご案内」が一緒に回り、眼鏡橋や古墳などに関する歴史の説明を行っています。今後も、さらに楠浦の「よかとこ」を伝えるため、活動を継続していきたいと思っています。

▶案内人の説明を受ける参加者



盆団子づくりを体験!

宮地岳地区振興会 会長 龍石 昭好

「ご先祖さまが帰ってくるお盆に団子をつくり、仏壇にお供えしよう」と8月12日にわんぱ～く児童館の先生と子どもたち7人で団子づくりを行いました。かぼちゃ、よもぎの入った生地も使い、上手にのばしながら丸めたあんこを包んで3色の団子が完成。小さな手で粉だらけになりながら一生懸命作ってくれました。宮地岳では日本ならではの昔からの風習を大切に、これからもたくさんの方の経験をしてもらいながら子どもたちの健やかな成長を見守っていききたいと思います。

▶真剣にだんごを丸める子どもたち



各地区の話題

▶「綱引き」競技の様子



下浦町民体育祭

下浦地区振興会 会長 松岡 政幸

10月4日に下浦町民体育祭を開催しました。これは町民の健康増進と親睦融和を目的とし毎年10月の第一日曜日に計画しています。平成25年度と26年度の2年間は雨天、台風により残念ながら中止となりましたが、今年は爽やかな秋晴れの下、無事行なう事ができました。当日は早朝より各区長・自治会長、体育推進委員、競技役員、町女性部、交通安全協会下浦支部、青年クラブの方々など、多くの人に準備から片付けまでを手伝っていただき、各競技でも笑いあり感動ありの素晴らしい大会となりました。中でもフラフープを三角コーンに投げ入れるジャンボ輪投げリレーや、バレーボールをバウンドさせて背中に背負ったコンテナに入れるサボン狩りリレーなどの巧緻走は、どの地区でも笑顔がこぼれるものとなりました。また綱引き競技では、湯貴栲塚区の湯貴自治会が10連覇を達成し不動の強さを見せました。3年ぶりの開催となりました今回ですが、多くの人たちに参加して頂き本来の目的を達成できたものと思います。今後もより良いものに出来るよう改善をしていきたいと思います。

地域みまもり隊感謝の会

本渡南地区振興会 会長 海江田 雅靖

本渡南小学校児童の皆さんの安全な生活環境を提供することをめざして、本渡南地区では各種団体による、登下校時のみまもり活動を「地域みまもり隊」として活動しています。日頃の活動に対して感謝の気持ちを表すため、本渡南小学校全校児童による「地域みまもり隊感謝の会」が開催されました。

当日は本渡南地区振興会をはじめ多くの団体が出席され、それぞれの代表者の方へ各クラスより児童一人一人が書いた感謝の言葉を添えた感謝状が贈呈されました。



▶感謝状贈呈の様子



▶薬師寺執事 大谷徹英氏

「よっぼどの縁」を大切に

本渡北地区振興会 会長 鶴田 克幸

9月16日、「家庭教育講演会」を本渡中学校で開催し、同校の保護者などが参加しました。今回は、薬師寺執事 大谷徹英氏が講演。大谷氏は、先祖から子孫へと続くいのちのつながりに触れ、「一瞬の出会いもよっぼどの縁、と受けとめ、相手を受け入れることが大切」と語られました。ユーモアを交えた人間関係の「縁」の大切さについての話に、参加者は熱心に聞き入っていました。

紙芝居やそうめん流しに子どもたちが大喜び! 亀場地区振興会 会長 河野 昇

毎年恒例の「七夕会」を開催しました。当日は幼児から保護者まで121名の参加があり大賑わいでした。七夕会に関する紙芝居の読み聞かせや各自の願い事を書いた短冊、お星さま、天の川などたくさんの七夕飾りを4本の竹笹に飾り付けました。昼食にはそうめん流しを行い、子どもたちは美味しさと楽しさで、とても満足そうでした。最後にみんなが楽しみにしているピングゲームを行って七夕会を終りました。



▲「そうめん流し」の様子



▶「入島式」の様子

御所浦民泊体験・ふれあい会!!

志柿地区振興会 会長 松本 明博

8月22・23日の2日間に渡り、志柿・瀬戸交流事業“体験ふれあい会・お泊り会”を実施しました。これは志柿小学校と瀬戸小学校の生徒と未就学児を対象とし、宿泊、体験学習及び自然体験を通じて「天草」への郷土愛を深めると共に、子ども相互の仲間づくりと、子ども個人の責任感を養うことを目的として開催しています。御所浦民泊体験は昨年度よりはじまり、本年度は総勢43名の子どもたちが参加してくれました。御所浦では、化石の発掘、化石のクリーニングや魚釣りを体験しました。民泊先でのお手伝いなどいろんな人とふれあい、学校や地域そして世代をこえて友情を深めることができたのではないのでしょうか。今回の経験をこれからの生活に役立ててくれればと思います。

みんなで楽しんだミニキャンプ!

柙宇土地区振興会 会長 菅原 一男

9月19日・20日、柙宇土ミニキャンプを柙宇土地区コミュニティセンターを主会場として実施しました。子どもの数も年々減少する中で、20人の小中学生が参加して、カレー作りやキャンプファイヤー体験など笑顔いっぱい楽しんでいました。また、20日に開催した敬老会では、敬老作文や合唱(水戸黄門のテーマ、亀小校歌)を披露し敬老者に喜ばれていました。



▶「キャンプファイヤー」の様子

ほんどのいま

平成27年10月1日現在
(H27. 4. 1との比較)

【本渡南】 男……………4,192人 (- 0)
女……………4,880人 (- 10)
計……………9,072人 (- 10)
世帯数……………3,954 (+ 27)
高齢化率……………29.8%

【本渡北】 男……………5,271人 (+116)
女……………5,766人 (+ 85)
計……………11,037人 (+201)
世帯数……………4,673 (+ 97)
高齢化率……………22.1%

【亀場】 男……………2,028人 (+ 43)
女……………2,355人 (+ 37)
計……………4,383人 (+ 80)
世帯数……………1,783 (+ 39)
高齢化率……………22.5%

【柙宇土】 男……………338人 (- 8)
女……………343人 (- 2)
計……………681人 (- 10)
世帯数……………264 (- 6)
高齢化率……………41.1%

【志柿】 男……………1,396人 (- 11)
女……………1,646人 (+ 7)
計……………3,042人 (- 4)
世帯数……………1,256 (+ 2)
高齢化率……………28.9%

【下浦】 男……………870人 (- 7)
女……………976人 (- 6)
計……………1,846人 (- 13)
世帯数……………778 (+ 4)
高齢化率……………41.7%

【楠浦】 男……………1,186人 (+ 12)
女……………1,332人 (- 9)
計……………2,518人 (+ 3)
世帯数……………1,018 (+ 7)
高齢化率……………33.2%

【本町】 男……………904人 (+ 6)
女……………980人 (- 1)
計……………1,884人 (+ 5)
世帯数……………854 (+ 2)
高齢化率……………34.3%

【佐伊津】 男……………1,586人 (+ 2)
女……………1,789人 (- 2)
計……………3,375人 (- 0)
世帯数……………1,425 (+ 3)
高齢化率……………33.5%

【宮地岳】 男……………282人 (- 2)
女……………285人 (- 1)
計……………567人 (- 3)
世帯数……………261 (+ 1)
高齢化率……………46.4%

【合計】 男……………18,053人 (+151)
女……………20,352人 (+ 98)
計……………38,405人 (+249)
世帯数……………16,266 (+176)
高齢化率……………28.5%

善意の寄付

ありがとうございました (敬称略)

[平成26年12月～平成27年8月 本渡まちづくり協議会受領分]

○ふるさと応援寄附金として

田口 雅彦 (千葉県) 日浦 登美香 (神奈川県)
福田 良治 (東京都) 鶴田 ハルノ (神奈川県)
松下 亮一 (三重県) 松野 重幸 (埼玉県)
森田 慎一 (福岡県) 岡崎 直哉 (福岡県)

? 「ふるさと納税」って?

名称に「納税」とありますが、新たに税金を納めるものではなく、正確には市区町村や都道府県などの地方自治体への寄附のことを言います。出身地や応援したい自治体へ寄附することで、寄附者が住む自治体に納める住民税などの軽減が受けられるため、実質的に自分が納める税の一部を応援したい自治体へ移すようなイメージになります。天草市では、名称を「天草市ふるさと応援寄附金」として寄附を受け付けています。

「ふるさと納税」で、天草本渡のまちづくりを応援してください。応援したいまちづくり協議会または地区振興会を指定できます。

市外にお住まいのお知り合いの方がいらっしゃいましたら、ご周知くださいますようよろしくお願いいたします。

本渡まちづくり協議会

本渡南地区振興会 本渡北地区振興会
亀場地区振興会 柙宇土地地区振興会
志柿地区振興会 下浦地区振興会
楠浦地区振興会 本町地区振興会
佐伊津地区振興会 宮地岳地区振興会

■編集・発行 本渡まちづくり協議会

【事務局】
天草市 地域振興部
まちづくり支援課
〒863-0023
熊本県天草市中央新町15番7号
TEL 0969-32-6661
FAX 0969-23-1999
E-mail machidukuri@city.amakusa.lg.jp

▼人材育成研修で上勝町の葉っぱビジネスを視察しました。中には1日8万円の売り上げがある高齢者の方がいると聞き、驚くと共に、高齢者の方がやる気になる理由が分かりました。地域にある葉っぱという宝を見つけ、磨きあげ、今まさに宝の山になっています。宝を発見するのは人であり、人こそ宝だと思えました。【上】

▼まちづくりの「しごと」にかかわるといふこと…。自分が生まれ育った「まち」で、そこに住む「ひと」とともに汗を流し、子や孫、その先の世代までまちを「つなぐ」こと…。そして、そのまちが、誰からも愛されるまちだったら素敵だな…。【中】

キーワードは、「TSUNAGU」。公園で無邪気に遊ぶ我が子たちをみながら、ふとそんなことを思いました。【下】

編集後記